

グローバル教育推進委員会設置要綱

1 目 的

教育委員会が進めるグローバル教育推進事業の運営に関し、専門的見地から指導、助言及び評価等を行い、グローバル教育推進事業の円滑な実施に資する。

2 組 織

- (1) グローバル教育推進委員会（以下「推進委員会」という。）は、8名以内で組織し、委員は、教育長が委嘱または任命する。
- (2) 推進委員会には、座長1名を置き、県立学校担当の教育次長を充てる。
- (3) 座長は、推進委員会を開催し、会務を総括する。
- (4) 座長は、必要があると認めるときは、推進委員会の委員以外の者に出席を求め、資料の提供や、意見、説明、その他の協力を求めることができる。

3 任 期

- (1) 委員の任期は任命の日から令和4年度末までとする。ただし、やむを得ない事情等により委員が欠けた場合には、補充のため新たに委員を委嘱または任命する。
- (2) 委員は、再任されることができる。

4 部 会

- (1) 推進委員会には、必要に応じて専門部会を置くことができる。
- (2) 専門部会の委員は、教育長が委嘱または任命し、専門部会の委員の任期は任命の日から令和4年度末までとする。
- (3) 専門部会には、スーパーバイザーを置き、スーパーバイザーは委員の中から座長が指名する。

5 審議内容

- (1) 事業の計画に関することについて指導、助言を行う。
- (2) 事業の実施に関することについて指導、助言を行う。
- (3) 事業の評価を行う。
- (4) その他関係する事項

6 そ の 他

推進委員会の事務局は、高知県教育委員会事務局高等学校振興課に置く。

7 附 則

この要綱は、令和4年5月2日から施行する。

令和4年度第1回グローバル教育推進委員会
出席者名簿

委員

* 敬称省略、五十音順

所 属	役 職	氏 名
敬愛大学	英語教育開発センター長 国際学部国際学科教授	向後 秀明
高知県教育委員会事務局	教育次長	竹崎 実
国際バカロレア機構日本大使 東京インターナショナルスクール理事長		坪谷 ニュウエル 郁子
大阪大学人間科学研究科	教授	山本 ベバリーアン

学校

所 属	役 職	氏 名
高知県立山田高等学校	校長	正木 章彦
	教頭	清水 明子
高知県立高知南中学校・高等学校	校長	西内 清
高知県立高知国際中学校	校長	片岡 真希
	教頭	伊芸 美紀
高知県立高知国際高等学校	校長	高野 和幸
	主幹教諭	石丸 右京
高知県立西高等学校	校長	廣瀬 法民
	副校長	森 隆彦
高知県立室戸高等学校	校長	藤田 勇人
	教諭	尾知 桃子
高知県立清水高等学校	校長	市原 庸寛

教育委員会事務局

所 属	職 名	氏 名
高知県教育センター	学校支援部長	上岡 美保
	指導主事	大菊 賢
小中学校課	チーフ (ICT活用教育支援担当)	田所 久仁夫
高等学校課	課長	並村 一
	指導主事	下司 哲也
高等学校振興課	課長	野田 健一
	チーフ (振興担当)	中越 啓介
	指導主事	籠尾 悦子

令和4年度グローバル教育推進委員会について

高知県教育委員会事務局高等学校振興課

【テーマ：主体的な学びや協働的な学びをとおした学習のあり方について】

本県におけるグローバル教育では、生徒が授業や課題研究に取り組む中で、論理的思考力や判断力、表現力を身につけるとともに、英語運用能力の向上を図り、将来グローバル人材として活躍できる資質を育成することを目的としている。生徒が学習を進めていく中で、どのような活動が必要で、それらをどのような手順で積み重ねていくのか、さらにはどのように評価して生徒にフィードバックするのかについて、具体的な事例を集積することが必要である。

本年度は、高知国際中学校・高等学校及び山田高等学校の取組、高知県教育委員会の取組について協議を行う。また、これまでの高知南中学校・高等学校、高知西高等学校の研究実践を踏まえた検証を行う。

【到達目標】

- (1) 高知国際中学校（国際バカロレア (IB) プログラムの取組）
 - ① 探究学習を通して10の学習者像の実現と高い志を持って学習に取り組める生徒を育成する
 - ② 教員自らの能力を高めることのできるネットワークをつくり、授業の質の向上を図る
 - ③ 保護者から信頼される学校づくりをすすめる
- (2) 高知国際高等学校（国際バカロレア (IB) プログラムの取組）
 - ① 高い志を持って学習に取り組める生徒の育成
 - ② 授業の質の向上を目指した授業実践
 - ③ 保護者から信頼される学びのコミュニティづくり
- (3) 山田高等学校（学科改編の取組）
 - ① 完成した「探究学習プログラム」の改善・充実をすすめる。
 - ② 1・2年生とも75%以上の生徒が英語運用の到達目標を達成する。
 - ③ 一人一台端末を積極活用するために計画的に研修を実施し、指導技術の向上とともに学習の個別最適化を図る。
 - ④ グローバル探究科の特徴や進路の可能性に関する情報を、中学教員に折に触れて伝えるとともに、香美市をはじめとした地域とのつながりを一層深める。
- (4) 高知南中学校・高等学校（グローバル教育プログラム（探究型学習・英語学習）の取組）
 - ① これまで取り組んできた主体的・対話的で深い学びの実現を目指す授業改善の取組を生徒全員の進路実現に生かしていく。
 - ② これまでの研究成果を総括する。
 - ③ 高知南中学生の基礎学力の向上を図り、引き続き高知国際高等学校への円滑な接続を推進する。
- (5) 高知西高等学校（グローバル教育の推進と英語運用能力の向上に向けての取組）
 - ① グローバル教育の推進・英語運用能力の向上をとおして、志をもって自らの進路を選択できる生徒を育成する。
 - ② 地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）における「事業特例校」指定を生かし、最終年度の探究学習を充実させる。

ポイント 7 グローバルな視点での教育の推進

1 現状・課題

- ◆推進校（中学校2校、高等学校4校）を中心にグローバル教育を推進しているが、その取組の成果について県内各学校や生徒・保護者等に十分周知が図れていない。グローバル教育の取組を全校に広げるために、広報活動を充実させ、より計画的に周知を図ることが必要。
- ◆新学習指導要領に則った目標・指導・評価が一体化された英語の授業が十分に実践されていない。中学校では、4技能（聞く・話す・読む・書く）を統合した質の高い言語活動にまだ至っていない。（R2県学力定着状況調査及びH31全国学力・学習状況調査結果より）
- ◆共生社会の実現に向けて、外国人児童生徒等の教育の充実を図るための取組を、本県の状況を踏まえながら段階的に進めていくことが必要。

「郷土を愛し、その発展に貢献できる人材や高い志を持ち、高知から世界へチャレンジできる人材」を育成するための取組を促進

2 取組

○高知県版グローバル教育（国際バカロレア教育含む）の推進

■グローバル教育推進委員会の指導・助言に基づく取組推進

- ・指定校を中心としたグローバル教育の推進
- ・国際バカロレア教育の推進及び県内各学校への普及
- ・海外留学や異文化等の理解の促進（海外留学支援の拡充 R1:20名 ⇒ R4目標:30名）

高知県版グローバル教育が目指す姿

- 探究的な学びを通して、生徒の論理的思考力や判断力、表現力を育成し、英語運用能力を高めることで、**グローバルな視点を持って地域の将来や産業振興を担う人材を育成する。**

○学習指導要領に基づく国際理解・国際親善教育の推進

■全ての学校における国際理解・国際親善教育の推進

- ・ALTの配置
- ・国際交流員（国際交流課）による出前講座の活用

■デジタル技術を活用した国際交流の推進

- ・好事例や国際交流情報等の展開



▲遠隔システムを活用した海外交流

○「高知県英語教育推進のためのガイドライン」に基づく取組の推進

- ガイドラインの行動指針に沿った取組の充実（小・中・高の交流や情報交換を通じた系統的な外国語教育の充実等）
- 言語活動を中心とした4技能統合型の授業への転換（中学校英語授業改善研究協議会や授業づくり講座の実施等）
- ICTを活用した授業と家庭学習のサイクル化による英語教育の強化
- 英語教育の質の向上に向けた小学校英語専科教員の配置

○「高知県日本語教育基本方針」（R4.3月策定予定）に基づく取組の推進

- 公立学校における受入体制の整備（国の配置基準に沿った加配教員の配置、市町村教育委員会への情報提供、個別事例の相談への対応等）
- 日本語指導教員等の資質能力の向上に向けた研修の実施
- 夜間学級における教育活動の充実（外国籍の方などを対象に学びの場の提供）

